○「今、こんなことしてます」 ご無沙汰している方々へ"近況報告 ○「こんなこと、感じてます。」 "社会教育主事有資格者として"

情報交換「市」

^○会員どうしの「絆」を結ぶ。紙面上の "情報交換「市」"

○「伝えたい!」「お願い。教えて!」

「なんだろう?探検隊」 栃木市立栃木第五小学校 教諭 服部 雅弘

本校では、年間5回の土曜日に、栃木市 第6コミュニティーの青少年部と共催で「な んだろう?探検隊」を実施しています。

この活動は、地域のすばらしい能力をも った方々をボランティアとしてお招きし、 普段なかなか学ぶことができない貴重な体 験をしています。

今年度の第1回は、押し花インストラク ターの渡邉さんたちをお招きして、「押し花 カレンダーづくり」に挑戦しました。第2 回は、学校のすぐ西を流れる永野川や学校 にスズムシの音を取り戻そうと、スズムシ 博士の小倉先生から飼育の仕方を学び、第 3回は、育てたスズムシを放虫しました。 第4回は、青少年部と民生児童委員の皆様 に教えていただきながら太平山でのカレー 作りを実施しました。第5回は、同じく民 生委員児童委員さんに教わりながら、家庭 科室でそば打ちに挑戦しました。自分たち で作ったカレーやそばをおいしそうに食べ ていました。

子供たちは、普段体験できない興味深い 活動に目を輝かせていました。毎年恒例と なったこの行事、今となっては、五小なら ではの地域と結びついた体験活動になって います。

「地域に支えられ」 県立小山南高等学校 教諭 佐山

本校は県内唯一のスポーツ科を有し日々、 教科指導、情熱部活動、進路の3本柱の指針 の基教育活動を実践しているている。学校全 体での取り組みでも、ボランティア活動を積 極的に実践している。スポーツ科の生徒も、 スポーツボランティアで間々田地区のグラン ドゴルフ大会や間々田東小学校の体育的行事 に参加させていただいている。

先日も運動会に参加させていただき、前日 準備、運営補助等を行うことで、学校行事の ノウハウを学ぶ機会があった。秋空の下での 運動会。そのまた昔は地域の一大イベントで あった。昨今は児童数の減少から昔ながらの 一大イベント化してきている学校もあり、子 ども、保護者、学校、そして地域が良いバラ ンスを保ちながら実施されていた。

「地域との綱渡し」、かつて、講習で何度 も耳にした言葉がよみがえった。講習を終え、 全く社教主事として機能していなかったが本 部テント近くの敬老席に歩み寄って地元の方 々との会話から、「これってもしかしたら橋 渡し」と感じた。私が会話をしていると生徒 も輪に加わり、児童も「僕のおじいちゃんだ よ、私のおばあちゃんだよ」といった具合に 大きな輪になった。

「地域連携」、「地域の綱渡し」などという 言葉から我々は何かイベントを開催すること を優先しがちだが、身近にヒントが隠されて いることを確認できた。また、小学生の笑顔 も大きな刺激となった。

「先生方のネットワークづくりを」 独立行政法人教員研修センター 主任指導主事 磯 宜男

教員研修センターでの勤務も半年が過ぎました。 各都道府県市から推薦された先生方がつくばに集 まり、長期研修を行っています。職種、立場は違 えど、この半年間でたくさんの先生方と出会い、 コミュニケーションを通じて様々なことを学ばせ ていただきました。

現在は、主に学校教育に携わっていますが、人 との交流、またネットワークの構築については、 社会教育が目指すものと同様であると感じていま す。ですから、研修を企画運営していく上で、こ れら社会教育の視点を重視して仕事をやらせてい ただいております。

研修を修了した先生方の表情からは、いつも達 成感と充実感が…。おそらく学びはもちろんのこ と、仲間との交流が有意義なものになっていると 思われます。今後も先生方同士のネットワークづ くりのお手伝いができたらと考えています。





く研修の様子>



ネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワーク

○「今、こんなことしてます」ご無沙汰している方々へ"近況報告"○「こんなこと、感じてます。」"社会教育主事有資格者として"

情報交換「市」

´○会員どうしの「絆」を結ぶ。紙面上の "情報交換「市」"

○「伝えたい!」「お願い。教えて!」 、"伝言板"

「地域連携、今思うこと」 小山市立間々田小学校 教諭 柏原 益志

水曜日の放課後は、「間小っ子ふれあいひろば」に参加している子ども達の笑顔があふれている。地域の教育力を生かした様々な体験活動、異年齢集団の交流を行っている。

その他にも間々田小学校では、「自然の里間々田」の方に自然観察や虫取り等の支援をしていただいている。校内においても、登下校の見守りボランティアをはじめ、昔遊びやミシン、そろばん等のボランティア等において、サポートをしてもらい、地域との連携活動が活発である。

今年度、地域連携教員となったが、その実践がなかなかできないでいる。今後は、組織的かつ効果的な活動になるよう整理していきたい。また、自然の家での勤務から学んだ知識や技術、ネットワークを生かして、学校施設や地域人材を活用した防災キャンプや祭りのような行事が行えたら面白いと思っている。

「読み聞かせ集会」 栃木市立大平南中学校 教諭 中山 貴子

先日、私の勤務校では、朝会の時間を延長して「読み聞かせ集会」を行いました。読み聞かせを依頼した、りんごの会、朗読を楽しむ会のお二人の方は、早朝からのお願いにもかかわらず、笑顔で来校してくださり、本当にありがたく思いました。

演目は菊池寛の『入れ札』。江戸時代、国 定忠治と十一人の乾児との別れの場面。難解 語句も多く、正直のところ、生徒の反応が心 配だったのですが、お二人の小気味よく、迫 力たっぷりの朗読に引き込まれ、三十分の公 演を真剣に聞くことができました。

今回の集会を開くにあたっては、「地域コーディネーターさん」「学校コーディネーターの先生」にお世話になりました。

地域にお住まいのたくさんの方々の力をお借りしながら、よりよい教育活動をしていけたら素敵だなと感じています。



「三中応援団『三支会』」 小山市立小山第三中学校 教諭 大場 早苗

三中には、三中を支える会「三支会」という心強い応援団がいます。その多くが元PTA役員の方々で構成されています。運動会や学校祭で得た益金で、テントを購入してりたられたり、防犯パトロールとして学区内の巡回をしてくださったりしています。また、「教支塾」という若い先生方を招待してくてきるり、いつも私達教員が気持ちよく仕事ができるようにと心配りをしてくださっています。

社教主事講習を受講してから、子供は地域の宝であること、その子供たちをどう育てていけばいいのかをいつも心にとめてきました。学校ができることには限界がありますが、この三中で改めて子供は地域みんなで育てるということを実感しています。縁あって出いた子供たちが多くの方々にかわいがっていただけるような、そんな存在に育てていけたらと考えています。

そして、私も三中一年生ですが、この地域をもっと知り、たくさんの地域の方と知り合いになり、心でつながっていけるような絆を結んでいきたいと思います。



情報交換「市」もすっかり、「ネットワーク」の定番となりました。社会教育主事講習で一緒だったあの人が、一緒に勤務したあの人等が、「現在」の様子を皆さんに語ります。ぜひ、これからのふれあい学習の一助に、そして、紙上同窓会的意味合いもあります。今回の情報交換「市」も、ぜひ、お楽しみください。

